

**学びの共同体の活動システムを
取り入れることで期待されること**

子どもはこう変わる

- 子どもは協同的な学びを通して**友だちとの関係がよくなり、自己有用感をもつ。**
- 子どもは学級に心の居場所ができて、**安心して学びに向かうことができる。**
- 子どもは多様な考えを聴き合い、**論理的に説明し合うことで思考力が高まる。**

教師はこう変わる

- 教師は子どもの学ぶ様子に応じて柔軟に授業をデザインする。
- 教師は子どもがより夢中になれるような興味深い課題を考える。
- 教師は同僚の授業から学びながら自分の授業の質を高めていく。

保護者や市民の皆様は

- 保護者は自分の子どもの**学ぶ様子を見て子ども理解をさらに深める。**
- 子どもと**学習内容を共有することで親子のコミュニケーションが活性化する。**

学びの共同体としての学校では

- 聴き合うことで個々の存在が認められ、子どもたちの**自己有用感**が高まります。自己実現に向けて安心して生活し、学べる環境がつくられます。
- 本校は、**校長を始め全教職員**で、学び合う学校づくりに取り組んで参ります。
- そのためには、**保護者や市民の皆様のご理解**とご協力が**必要**です。

内外に開かれた学校として

- そのために、学校内では、**同僚に授業を開き、互いに授業力を高め合う研修**を行います。
- 学校外の皆様には、**保護者や地域社会の皆様**に学校を開き、**公共空間としての役割**を果たしていきます。